

朝日山恵心院は離宮の南にあり、真言宗にして、開基は恵心僧都なり。本尊大日如来は弘法大師の作、薬師堂の尊像も同作。又恵心僧都七十六歳の像、堂内に安置す。本堂の額〔恵心院〕持明院基時卿の筆なり。開基源信僧都は和州葛城郡の人にして、姓は清原氏なり。叡山慈恵法師につかへ顕密の教をよくきはめ、一乗要訣、往生要集、阿弥陀経疏、大乘対俱舍抄、因明相違など著し、恵心院の僧都となり、大唐南湖知礼法師に問書をつかはしければ、大に感歎し答釈つくりて返しける。寛仁元年六月十日徒弟をあつめて、けふはた往生の期いたれり、教義の疑しきを問ふべしとて、みなく決定をなさしめ、其後傍をさけ、上足慶祐法師壹人をとめて其まゝ終をとげにける、寿七十六。時に天楽空にひゞき奇香よもに散じ、山中の草木ことごとく西になびきしとなり。趙宋皇帝僧都の道誉をきゝて、塔廟を建、影像を置かしめ給ひけるよし聞えき。

新 古 我だにもまづ極楽にむまれなばしるもしらぬも皆むかへてん 僧 都 源 信